

経皮的冠動脈形成術（鼠径） 2泊3日

退院基準	合併症の症状・所見がない			
経過	入院日（治療前日）	治療当日		退院日（治療翌日）
		治療前	治療後	
月日	/		/	
達成目標	身体的準備ができています		合併症の症状・所見がない 穿刺部に問題がない	
処置	必要に応じてレントゲン、血液検査などを行います 点滴の針を入れます （点滴のない場合は治療当日に入れます） 足の動脈に印をつけます （足の印は消さないでください） 弾性ストッキングのサイズ測定と試着をします	手術着に着替えて下さい （ズボン、靴下は着用しないで下さい） おむつ、弾性ストッキングを着用してください 必要に応じて尿管を留置します 除毛をすることがあります	ベッドで部屋へ帰り、心電図モニターをつけます 止血のため圧迫帯を巻きます 4～6時間後、圧迫帯をはずします	血液検査を行います 絆創膏をはがします 化膿止めの軟膏を塗ります 1日3回（朝、昼、夕）3日間使用してください 心電図モニターをはずします
注射薬	必要があれば点滴を行います		点滴を行います 飲水と尿の程度により点滴を追加することがあります	
内服薬	休薬の指示がない場合はいつも通り内服してください		治療内容により薬が開始になる場合があります	
食事	いつも通り食事ができます	やや控えめにしておくといでしょう	寝たまま食べて下さい ご飯をおにぎりにします 水分は多めにとりましょう	いつも通り食事ができます
安静度	病棟内の歩行ができます		止血を確認するまでは上向きで寝たままです 圧迫中の足は曲げないでください 医師にて止血を確認後、医師の指示がある場合は自座テストを行います テスト合格後はベッド上で自由にできます テストを行わなかった場合は医師の指示に従ってください	前日の状態に応じて変動するので医師の指示に従ってください 必要に応じてテストを行い、異常が無ければ病棟内の歩行ができます
排泄	トイレに行けます		動けない間の排泄は看護師介助で行います 男性：尿器を使用してください 女性：尿管を入れたままです 排便はベッドの上で便器を使用します 翌朝8時まで尿量の測定をします	尿管を留置した場合、安静が解除されたら抜去します 尿管を抜去した後はトイレに行けます
清潔			希望される方はおしぼりで体を拭くことができます 退院後は、自宅にてシャワーが可能です	
説明同意	治療の時間は決まり次第お知らせします 化粧・マニキュアは落として下さい ご不明な点は主治医、看護師にお尋ねください 準備するもの ①薬のみ又はストロー ②スプーン	眼鏡・入歯・時計・指輪・ヘアピンなどの装飾品はすべてはずしてください 造影剤で体が熱く感じる場合があります	水分摂取を心がけて下さい 胸部症状がある場合や気分が悪いとき、穿刺部の腫れや出血がある場合はお知らせください	異常がなければ昼食後退院できます

* 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わります

岐阜市民病院 循環器内科 平成30年3月改訂

* 入院期間や治療内容は現時点で予想できるもので、症状により変わります

